

〔7月5日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

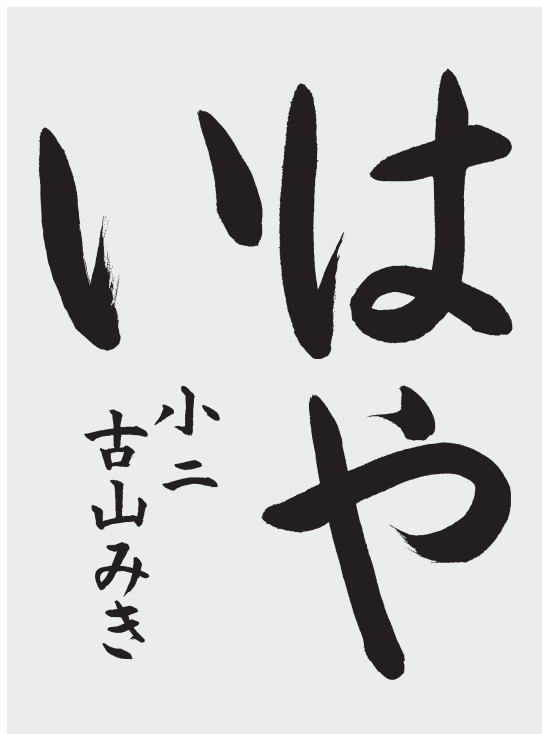


寺尾京華先生

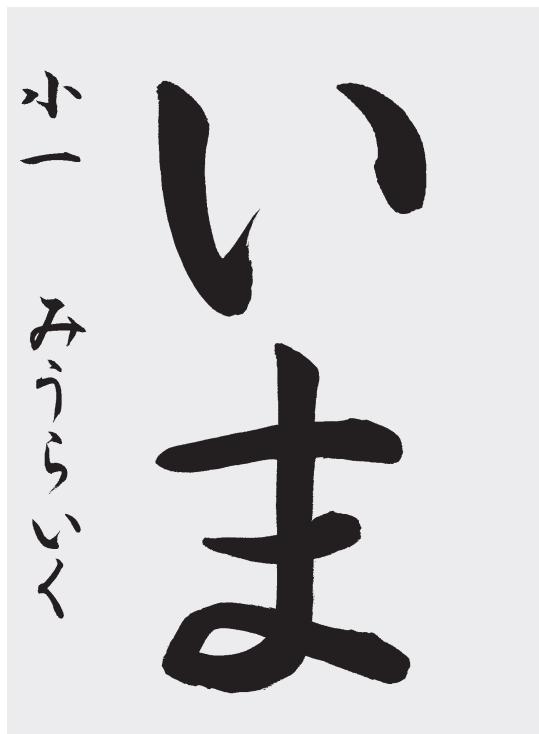
幼・小学1年参考手本



田中扇溪先生



菊池富美子先生



東福青篁先生

〔7月5日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年参考手本

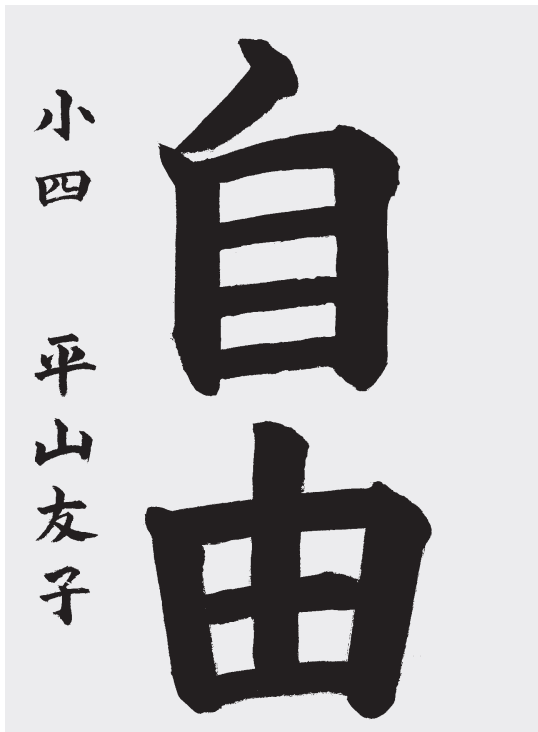


工藤永翠先生

小学3年参考手本



田村鄭雲先生



崎井恵風先生



大町青蓮先生

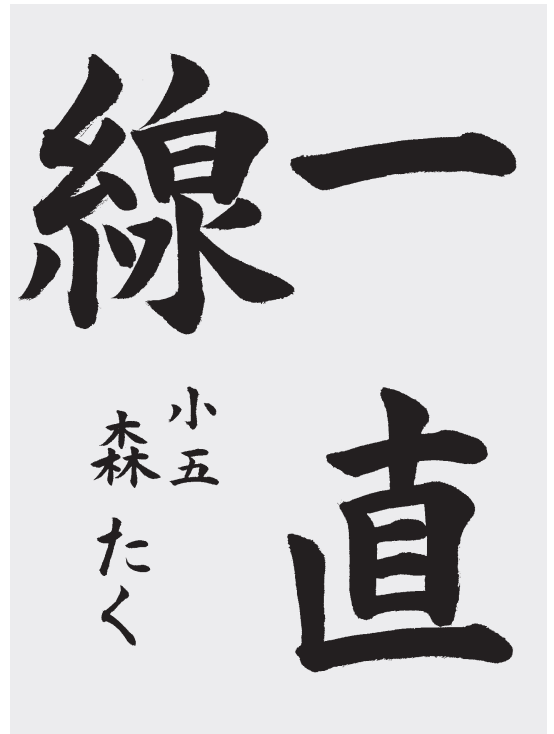
〔7月5日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年参考手本



三浦鄭街先生

小学5年参考手本



大平邑峰先生



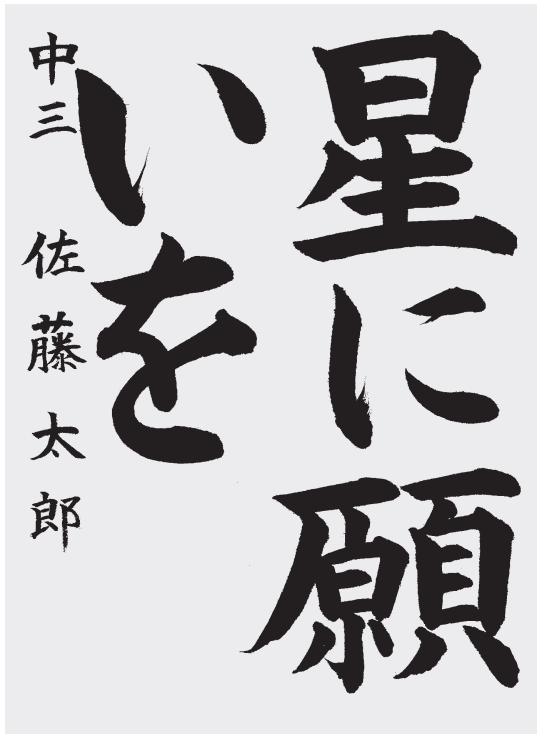
前田龍雲先生



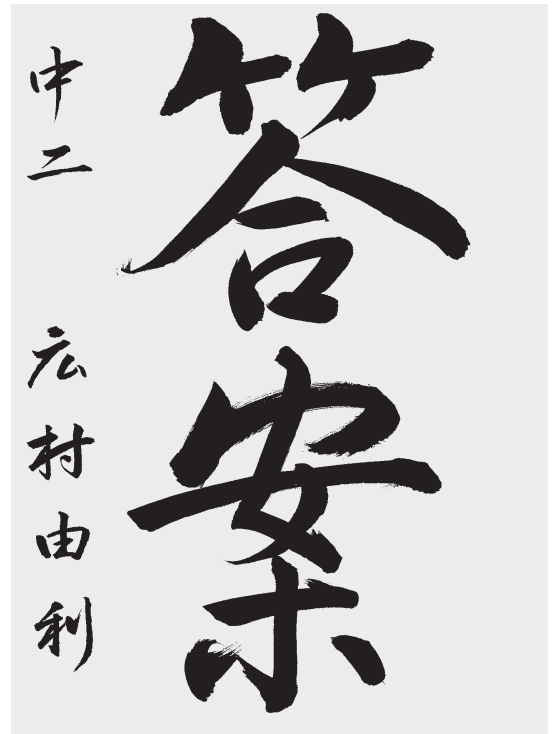
種谷萬城先生

〔7月5日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

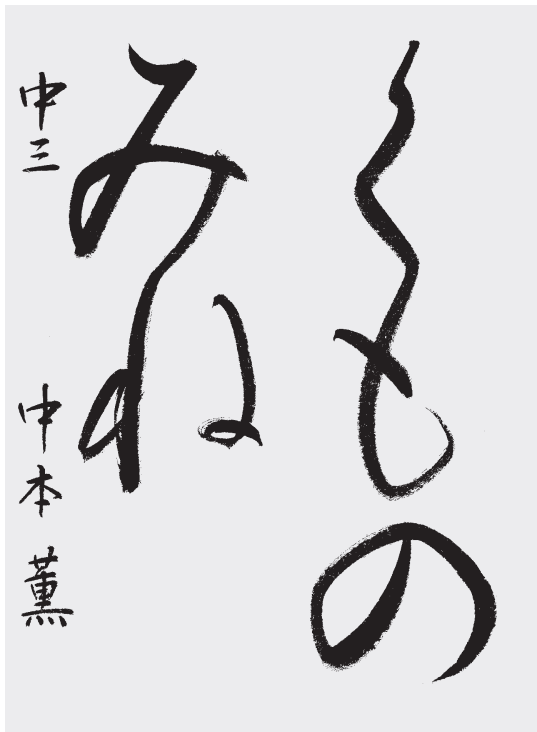
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



小竹石雲先生



広瀬舟雲先生




下谷洋子先生

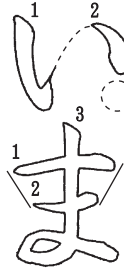



名越蒼竹先生

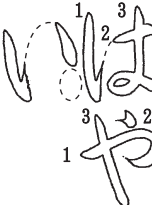
毛筆参考手本解説(1)

1年

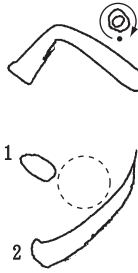
あ 
 安ああ
 あ(ヨ)あ明
 あ(教)

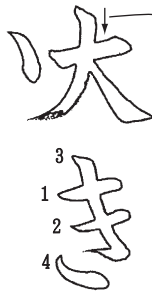
いま 
 いま(ヨ)いま明いま(教)

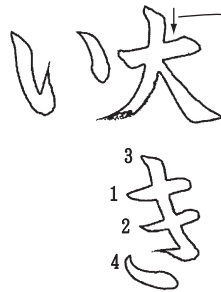
2年
 のぞみ 
 のぞみ(教)

はやい 
 はやい(ヨ)はやい(明)

3年


へ 
 撥音符号から
 ペン(ヨ)ペン(明)ペン(教)

い 
 交わるまでまっすぐに

伏 
 一ナ大
 大きい(ヨ)大きい(明)


4年


元氣 
 浅く接する
 中心より左へ
 長くそる

自由 
 たてが出る
 自由(ヨ)自由(明)自由(教)

5年

線一直 
 最終画は90度で折れ横部をそらす

登山 
 出す

自由 
 たてが出る
 自由(ヨ)自由(明)自由(教)

中心
祭典

〈筆順〉

ク夕夕夕祭祭
口曲曲曲典典
祭典(ヨ) 祭典(明) 祭典(教)

答案

〈筆順〉

竹夕夕夕答答
・ 一 一 一 安 安 案
答案(ヨ) 答案(明) 答案(教)

〈許容〉
方向 出ない 止め
女 木 はね
止め
ホ はね 止め

点画がつながる
点の変化

記録達成

〈筆順〉

三言言言言記記
金釘釘釘録録
土壺幸幸達達
ノ 厂 成 成 成 成
記録達成(ヨ) 記録達成(明)
記録達成(教)

等間隔に

そりは長く

周用周意

〈筆順〉

ノ 月 月 月 月
一 立 音 音 意 意
ノ 月 月 周 周 周
云 云 至 至 到 到
用意周到(ヨ) 用意周到(明)
用意周到(教)

つながる気持ちで

点の変化

〈許容〉
はなす
用 止め
方向
はなす

星に願いを

〈筆順〉

ノ 日 戸 早 早 星
一 厂 戸 原 原 願
星に願いを(ヨ) 星に願いを(明)
星に願いを(教)

等間隔

連続…線でつなげること

つき返す

ねの
くく
もも

ひらがなの字源 (416)

字源	字形
ね	衤 衤 衤 衤 衤
み	美 美 美 美 美
の	乃 乃 乃 乃 乃
も	毛 毛 毛 毛 毛
く	久 久 久 久 久

「国語科書写の理論と実践」
全国大学書写書道教育学会編より転載

※字源については、異字体から変遷したものに*印を付して()にその字体を記した。
※字形は古筆から抽出した。上段には字源に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

〔7月5日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年

小学5年

支部名			
段・級			
学年	六		
名前	小西愛		
	て ま と め る こ と が 大 切。	は 、 筆 者 の 意 図 に そ つ	文 章 を 要 約 す る 場 合

支部名			
段・級			
学年	五		
名前	谷田心実		
	を 書 い て み よ う。	い う 題 で 、 自 分 の 体 験	「 わ た し と 友 達 」 と

漢字の外形を見て、字形を整えましょう。

中心

止める

九画目を長く

要(教)

要(明)

要(ヨ)

中心

止める

点の位置と方向に注意

止める

約(教)

約(明)

約(ヨ)

中心

止める

九画目を長く

要(教)

要(明)

要(ヨ)

切(教) 切(明) 切(ヨ)

約(教) 約(明) 約(ヨ)

要(教) 要(明) 要(ヨ)

左右のつりあいをよく、字形をととのえましょう。

中心

日は中心に寄せる

この字のつりあいをとる線

※「馬」の筆順に注意

一「」 二「」 三「馬」 四「馬」

題(教)

題(明)

題(ヨ)

中心

日 早 早 是 題 題

組み合わせ

幸と心(しんにょう)の

いったん止めて、右へはらう

達(教)

達(明)

達(ヨ)

題(教) 題(明) 題(ヨ)

達(教) 達(明) 達(ヨ)

〔7月5日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中学生（行書）

中学生（楷書）

支部名	現代はホームページを作成し、 誰でも世界中に情報を発信する ことができてきた時代となった。
段・級	
学年	
中二	
名前	
竹内 憲二	

支部名	現代はホームページを作成し、 誰でも世界中に情報を発信する ことができてきた時代となった。
段・級	
学年	
中二	
名前	
竹内 憲二	

漢字、ひらがな、カタカナをつりあいよく書きましょう。

中心
情報発信する

中心
発
（はつがしら）の部
マアハハ発

・行書のワンポイントアドバイス
 行書は楷書に比べて、点画が丸みを帯び、曲線的になります。

終筆の変化

界中

連続と省略

連続

言（ごんべん）の行書

これからの作品締切日と課題

令和8年8月号～9年1月号までの作品締切日と毛筆課題

中学生 (全学年共通)		小6	小5	小4	小3	小2	幼・小1	締切	
次代を担う	自在	未来社会	山の日	実行	力もち	こおり	そ	8月3日	8月号
<small>荒海や佐渡に横たふ天の川</small>	粉骨碎身	道路	湖水	魚つり	石だん	へちま	もの		
夕映えの富士	名月	正倉院	開始	林道	田んぼ	ひろば	る	9月6日	9月号
がりがり	前代未聞	祝日 国民の	飛ぶ	金メダル	秋	ねがい	つき		
馬耳東風	(天地孔子廟堂碑・集字)	有名な人	家族	町村	見る	もみじ	え	10月5日	10月号
手書き表現		達成感	時計	安全	虫かご	月	よむ		
理路整然	(王道孔子廟堂碑・集字)	周	野原	月光	気	えがお	は	11月5日	11月号
伝統的な技法		詩を書く	筆の里	大切	竹やぶ	ダム	すみ		
無形文化遺産	(未来集字聖教序・集字)	海岸線	星ふる夜	方向	広がり	つばさ	き	12月3日	12月号
見聞を広める		楽しい声	登録	冬ごもり	夕やけ	かもめ	ふゆ		
心機一転	(出典集字聖教序・集字)	固い決意	百人一首	生きる力	羊	おせち	ね	1月7日	1月号
炭を継ぐ		観察力	理想	新春	はつゆめ	ひつじ	もち		

8月号の硬筆課題 ※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

幼・小1

しま	み
ました。	ずあ
	そ
	び
	を

小2

オ	あ
を見	さ、
つけた。	青い
	ア
	サ
	ガ

小3

くれ	ぎ
ました。	もん
	点を
	教えて

小4

を	話	新聞
調べ	題と	を持ち
ました。	な	より、
	って	今
	いる	記事

小5

置	見	そ
を	て	こ
た	自	に
し	転	ある
か	車	案
め	を	内
ま	止	板
し	め	を
た	る	
	位	

小6

す	現	歴
ふ	代	史
し	でも	に
ぎ	その	残
な	の	る
力	心	演
が	を	説
あ	動	は、
る	か	

中学生

い	の	広
の	世	島
り	界	の
を	遺	原
全	産	爆
人	に	ド
類	登	ーム
に	録	は、
発	さ	ユ
信	れ、	ネ
し	平	ス
て	和	コ
い	へ	
る	の	

書写を知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部教育学科・教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、(公財)書道芸術院評議員です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「国語科書写の理論と実践」などがあります。

第112回 書写・習字・書道の違いを述べられますか？【その2】

ここで、少し時をさかのぼり、書写に係る

いえましょう。

る教育課程の変遷をみていきます。戦後まもなくの小学校では硬筆による「書き方」だけになり、中学校では硬筆と毛筆による「習字」を学習することとなりました。この時点ではまだ

学校教育における「書道」は、正確には「芸術科書道」といい、高校では美術・音楽・工業という科目と同様に分類され、芸術としての書を学習する授業のことを指しています。

「書写」という名称はありません。その後、昭和33年に小学校、次年の34年に中学校の「学習指導要領」の一部改正によって、義務教育ではすべて「書写」ということになるのでした。

大概の書塾の先生は、書写と習字が同じものと勘違いしておられる方々がとても多いのです。特に気をつけなければならぬ点として、書写の目標を誤って「文字を正しく整えて美しく書く」と言ってしまうと、急に大減点(的はずれ)

よって、この時に学校教育における「習字」は名称とともに消えたのです。しかし、世間では書塾を中心に「習字」という言葉が今もなお残っています。

となくなってしまふということが理解できておりません。この「美しく」というフレーズが芸術としての書道そのもののことを指しているからです。「美」には、形の整った整齊な美と、ピカソ

「書写」は、正確には「国語科書写」といい、今までは小・中の授業で行う毛筆と硬筆の授業のことを指してきました。最近ではこれに小学校低学年の授業では「水書用筆」等を用いることが加わっています。今日では、小学校の書写は硬筆・水書用筆(軟筆)・毛筆。中学校の書写は硬筆・毛筆の授業を行うというのが正しいと

の晩年の絵画のような独特のバランスを保っている美があります。美は解釈によって広がりがあります。ゆえに、国語科の中の一分野である小・中の「書写」では後者の「美」は対象としないので、「美しい」という言葉は書写の目標には入れないことになっています。

今月のホープ



小六 中川結貴 (桐の会)

難しい課題だったが、漢字とかなのバランスが適格で、一字一字丁寧に気のこもった筆の運びが印象的でした。



小四 神作英希 (房州)

一点一画スキなくしっかりと書いて大きさたさも申し分ない作品。名前も見事です。

文部名	若葉会青森	最短ルートであった。 ころは、アンカレッジ経由の北回りがヨーロッパへ行く直行便がなかった
役・級	五上	
学年	中三	
氏名	河田露羽	

中三 河田露羽 (若葉会青森)

カタカナ、ひらがな、漢字が融合して、書き出しから最後迄気持ちが一貫しています。一字一字が響き合っていて美しいです。

文部名	もも	生かしましよ う。 学んだポイント
役・級		
学年	二	
名前	金きりよや	

小二 金崎良哉 (もも)

お手本をよく見て一文字ずつ落着いてバランス良く書けています。名前まで丁寧に見事です。

幼・1年

そ
わくいひろし

もの
小一 こんのゆい

2年

りにお
小二 山本みほ

まへち
小二 中山えま

3年

ちかも
小三 山本りん

ん石だ
小三 山田心

4年

実行
小四 森夏子

り魚つ
小四 小林昭

5年

山の
小五 沖田牧子

湖水
小五 山田あんな

6年

未来社会
小六 作田一馬

道路
小六 田白正人

中学

自在
中一 佐藤佳子

粉骨
中一 景山修三

次代を
担う
中三 木下俊子

荒海や
佐渡に横たふ
天の川
中三 片岡太郎

編集余録

○春季昇段級試験の審査が終了しました。今年も大変多くの出品があり、審査員の先生方で一点一点丁寧に審査しました。「合格証」は団体の先生宛にお送りしますので、楽しみにしてください。

○月例審査で写真版に掲載したい作品がありました。残念なことに、漢字の書き間違いや、課題違いがありました。作品を提出する際、もう一度自分の作品をよく見直してください。また、毛筆硬筆ともに名前まで気持ちを切らさず丁寧に書いてください。硬筆の作品は、消しゴムを使わないよう努力しましょう。

○今年のゴールデンウィークは皆さんどう過ごされましたか。休み明けは学校生活に戻るのが少し大変に感じることもあると思います。そんな時は、無理せず、少しずつ普段のリズムを取り戻してください。運動会や校外学習などの行事も増え、友達との関りが深まる時期でもあります。気持ちの変化に気づきながら、一日一日を大切に過ごしてください。

(悠輝)